神戸大学グリークラブ

平成 29 年度　　会報

神戸大学グリークラブ
神戸市灘区六甲台町 1-1

目次

ご挨拶	グリークラブ顧問	阪上　公博	・・・・・1
	グリークラブ部長	中尾　航一	・・・・・3
	正指揮者	藤井　達也	・・・・・4
	OB 担当	清水　知之	・・・・・5

OB 様方からの寄稿文

新 OB 代表	江崎　祐介	・・・・・6
『神大グリークラブの仲間、桐村敏昭君の近況』	永井　哲郎	・・・・・7
『グリー・α波・F/1・ＯＢ会』	千足　隆昭	・・・・・9

現役活動報告	・・・・・11
2016 年度　会計報告	・・・・・14
寄付金の振込先・住所変更、お問い合わせについて	・・・・・15

ごあいさつ

神戸大学グリークラブ顧問・技術顧問
阪上 公博（８２Ｔ　工学部教授）

まずは，本年度の会報の発行が遅れましたこと，大変申し訳なく深くお詫び申し上げます．担当者の交代等，諸事情ありましたとはいえ，定演の目前となっての発行となってしまい，申し訳なく存じます．しかしながら，遅くなりましたものの，本年度の活動や状況等々について平素ご支援いただいておりますＯＢの皆様方にはご報告すべきでありますので，いささか遅きに失したとはいえ，ここに発行させていただき，近況をご報告する次第でございます．不手際の段，平にご容赦いただきたく存じます．

さて，本年度もほぼ例年通りの数の１年生を迎え，スタートを切りました．前期には兵庫県合唱祭への出演，ジョイントコンサート等，例年通りの活動を続けております．団員数については，近年の授業過密化などの要因もあり，なかなか容易には増加するにはいたらず，ほぼ例年通り３０人前後で推移しております．また，就職スケジュールの変化のため，前期には多くの４年生が参加できず，３年生を中心にして副指揮者が主に練習を指導する形で進めざるを得ない状況が続いておりますが，その分小職も出来るだけ副指揮者をはじめ執行部へのアドバイスと，練習指導を強化するようにしており，結果的には副指揮者の良いトレーニングの期間となりつつあるようで，その点は若干のプラスでもあるかと思われます．

今年度のジョイントコンサートでは，客演指揮に関西を中心に多数の団体を指導されている実績のある飯沼京子先生をお迎えし，合同演奏を行って好評のうちに開催することが出来ましたことは，みなさまのご支援の賜物と感謝いたしております．

一方，学生合唱団では，同声合唱，特に女声合唱が下火な傾向が続いており，兵庫県下の女声合唱団はいずれも団員が１０人前後という状況となっており，長い歴史を持つ女子大合唱団でも部員が３名まで減少して演奏会が開催できなくなるなど，今後はこうしたジョイントコンサートの企画開催も容易ならざる状況となりつつあります．その中にあって，神戸大学グリークラブは３０人程度と小規模でも比較的安定していると言われますが，この状況に甘んじることなく，合唱団として充実していくよう努力を続けるよう，団員ともども精進を続けたいと思っております．

日々の練習環境について申しますと，神戸大学は一昨年からの４学期制導入と，大規模なカリキュラム改革，教養科目の多様化と充実，教員組織の改革と，大きな改革続きで，開学以来の大きな変革期を迎えており，その影響がグリークラブ（のみならず，多くの課外活動）に表れております．もっとも著しい問題は，教養科目，共通授業科目の増加により，共通教育部の教室がオーバーフローしており，時間割も５時間目まで授業が詰まることが多く，課外活動団体への教室の貸し出しが制限されていることです．こ

れまで貸し出しをしてきた発達科学部は，昨年から改組されて廃止となり，その結果発達科学部の教室は全面的に貸出不可となりましたし，共通教育部（大学教育推進機構）も５時間目に授業がある日は１８時３０分以降しか教室を貸しださないということになっています．そのため，練習時間も従来の約２／３以下にならざるを得ない状況となっており，学外の練習場を有料で借りることが増えております．

こうした厳しい状況ではありますが，練習メニューの工夫などでなんとか音楽的水準をキープするよう，団員諸君も頑張っております．定期演奏会まで約１か月，いまのところ順調に進んではおりますが，ここで気を抜かず，さらに磨きをかけて，定期演奏会を成功させるために，一層の精進を重ねる所存でございます．

今年はタイミングがかなり遅くなってしまいましたが，どうぞ引き続きご支援賜りますよう，顧問として末筆ながら伏してお願い申し上げる次第でございます．どうぞ，よろしくお願い申し上げます．

神戸大学グリークラブ　部長

工学部　4回生　中尾 航一

OBの皆様、平素より神戸大学グリークラブの活動をご支援頂き、部員を代表致しまして深く感謝申し上げます。昨年度OB担当を務めさせて頂き、今年度は神戸大学グリークラブの部長を務めさせて頂いております工学部機械工学科4回生の中尾航一と申します。

まず初めに、今年度の会報の発行が部内の都合により大幅に遅れてしまいました事、誠に申し訳ありませんでした。運営陣の代表として、謝罪致します。

今年度は、2回生1名を含む7名の新入部員を迎え、総勢24名で活動を行って参りました。前期の活動としては2年ぶりのジョイントコンサートを行わせて頂きました。私自身ジョイントの運営経験が無かった為、不安な点や分からない点が多々ある中での運営となりましたが、特に大きな問題もなくコンサートを終えられたことには実行委員長を含めた実務を行ってくれた3回生に感謝したいと思います。また、練習面では昨年に神戸大学が4学期制を導入した影響により、今年から大学で行う普段の練習時間が例年よりも短くなってしまいました。その為、部員はもちろん、合唱が未経験の新入生にとっては大変だったと思います。しかし、上回生を中心に効率よく練習を進めてくれた為、ジョイントコンサートでは大変良い演奏が出来ました。

昨年度の会報でも触れましたが、私はこのグリークラブに入って合唱というものに触れました。それまでは、音楽が苦手で、特に自分にとって人前で歌を歌うという行為は抵抗があることでした。グリークラブに入ったきっかけとしてはクラブの雰囲気や先輩方の存在が大きく、正直なところ合唱自体に興味があったわけではありません。しかし、やるからには苦手を克服して、少しでも上手くなりたいと思い部活動に取り組んできました。そして4回生となり残りの部活動も残り僅かとなってしまった現在では、苦手意識はなくなりつつあり、自分自身の成長を感じております。しかし、合唱の技術に関しては今までの先輩方には遠く及ばないと感じており、より技術を向上させ後輩に自信を持って指導できるよう日々の練習に励んで来ました。そのような拙い指導でも、しっかりと付いて来てくれた後輩達には本当に感謝しています。

現在、4回生が4名で3回生が9名と4回生の人数が少ない為、3回生に頼ってしまう部分もありますが、その分頼もしく、安心して来年のグリークラブを託せると考えております。最後のグリークラブの活動の中で、運営面・合唱面において後輩に何か残していくことが出来たらと思いつつ、定期演奏会をより良いものにするよう活動して参りたいと思います。最後になりましたが、OBの皆様方には今後もご支援並びに、ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

神戸大学グリークラブ正指揮者

文学部　4 回生　藤井 達也

はじめまして。2017 年度神戸大学グリークラブ正指揮者の藤井達也と申します。

まず、OB の皆様方、常日頃から我が団を支援して下さり、本当に有難うございます。ただただ感謝の気持ちでいっぱいです。我々は技術向上のために弛まぬ努力を重ねておりますが、それでもやはり合唱面において未熟な点も多々あるかと思われます。

毎年のことではございますが、我が部員は、音楽経験が今までなかった者が大多数を占めております。中学・高校時代に吹奏楽をやっていた私を含めて、音楽経験のあった者は片手で数えられるほどしかおりません。音楽的経験を買われた私は、昨年度から指揮者という立場を任されておりますが、どうやったらうまいこと部員たちを音楽的に先導することが出来るのだろうか、と悩み苦しんだこともたびたびありました。なぜならば、指揮者になるまで私は、前に立って人々を導くという経験を全くしたことがなかったからです。指揮者は英語で conductor と言いますが、その語源は、ラテン語の「con（共に）+duct（導く）+or（人）」です。ただ団員の前で指揮を振るのみならず、団員が奏でる音楽を聴いて助言し、彼らをより良い方向へ「導く」ことで初めて、指揮者たり得るのだと悟りました。悟ったは良いものの、いざ遂行しようとすると必ずどこかで思い通りにならないことも出てきます。しかし、それも楽しめるような余裕が身につけば、おそらく私は指揮者として一回り成長できるのでしょう。部員の合唱的水準を下げることの無いよう、練習指導に対して真摯に取り組む所存です。

私は、この部における一番の長所はメリハリの良さだと思っております。ひとたび部活の時間になれば、きっちりと真面目に練習をこなす一方で、部活が終わればスイッチを切り替えて、一緒にご飯を食べに行く、或いは部室で遊びに興じるなどして、部員同士の交流も活発に行われております。私がこの部に入ったきっかけとして、単純に音楽活動が大好きだったのもありますが、このメリハリの良さに惹かれたのも一つの要因です。まだ新入生だったあの頃に、この神戸大学グリークラブに所属することを選んで正解だったと強く思っております。もちろん、時には辛く苦しい思いをすることもありましたが、それでもやはり大部分は楽しい思い出に満ち溢れております。先輩方から引き継がれてきたこのメリハリのついた良き雰囲気を、是非とも後輩たちに継承していきたいと思っております。

末筆ながら、OB の皆様方には、今後ともご支援及びご教授のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。

藤井 達也（14L）
石川県出身。金沢二水高等学校卒業。神戸大学文学部にて地理学を専修。
当団では、学生正指揮者兼トップテナーのパートリーダーを務める。

神戸大学グリークラブ OB 担当

工学部　3 回生　清水 知之

この度は、神戸大学グリークラブの会報をご覧頂き誠にありがとうございます。まず初めにこの会報の作成が非常に遅くなりましたことをお詫び申し上げます。顧問の阪上先生、OB 様方から寄せられた多大なご心配や叱咤、激励の言葉に心から感謝申し上げたく存じます。さて、名簿を廃止して代わりに発行しておりますこの会報ですが、OB 様方のご支援の下、今年で 4 年目の発行となりました。このような試みは毎年続けていくことが何より大切なことであると感じており作成し終わりようやく人心地つくことができたというところです。

OB 担当とは言いながら私は 11 月の終わりに引継ぎを受けたばかりで右も左もわからないままマニュアル片手に四苦八苦しており溢れんばかりの拙い部分を先輩に助けてもらっておられるのが現状です。元々の OB 担当の者が現在休部をしており OB 方の皆様には連絡がつかない、遅れる、知らない相手になっているなど多大な心配をおかけいたしましたと存じます。役職を受け継いだ今短い間ではありますが精一杯取り組み少しでも今と昔の関係を繋げていきたく存じます。

グリークラブには同じような話をよく聞きますが多分に漏れず私も、歌を歌うことは苦手でした。高 3 の当時受験生だった私は友達に誘われて気晴らしに初めてカラオケに向かいました。フタを開けてみると音程は合わない高音は出ない声は暗いと自分の思いえがいていた姿と大きく異なり愕然としたものです。中高は一貫校の男子校であり合唱コンクールなどなく歌うのが小学校以来という間隔が幻想の自分を生み出していたのでしょうかその日はとても気恥ずかしかったものです。

それでも歌を歌うことは苦手であっても嫌いにはならなかったのがこの部活に入るきっかけといってもいいでしょうか。中高ではバスケットをやっていた私にとって歌うこととは縁遠い世界にいたにも関わらず苦手意識を持つ部活に入ったのはある意味挑戦のようなものでした。それからは尊敬する先輩の後を追い後輩に無様な姿は見せられないと取り組みあっという間の 3 年間だったといえます。そして、中高あわせて 5 年間バスケットを続けたものの最終学年に退部をしてしまった私にとって卒団するということも挑戦の一つであり 4 年目のグリークラブを走り抜けたらと思っております。

最後にこの OB 担当という役職も新たな挑戦だと思っております。ぜひ御指導、御鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

また、この会報を作成するにあたりましてご協力を頂きました我が団の顧問の阪上先生を始め、OB の江崎様、永井様、千足様にもこの場をお借りしまして改めて御礼申し上げます。

新 OB 様代表

昨年卒団した中から新 OB 代表として挨拶させていただく、江崎祐介と申します。7 人卒団した中で現在、新社会人として生活しているのはなぜか私を含めて 2 人というよくわからない代です。1 人は大学院に進学したのですが、残りの 4 人はよく覚えておりません。

私は現在、測量の仕事をしております。正確に言うと主に土地家屋調査士に関わる仕事をしております。どんな仕事かと申しますとその土地を測量し、境界を確定させ、その上で場合によっては土地を分筆、合筆などして法務局に登記するというものです。ちなみに私は経済学部出身です。学生時代に勉強したことが社会に出て通用するとは限らないとよく言われますが、そもそも全く畑が違います。また、もともと働くことが嫌いな私は学生時代、バイトを避け、そのおかげで毎年凌霜賞なるものを受賞できましたが、そこから得られるお金によってよりバイトから遠ざかり、ついにはバイトらしいバイトを経験することなく大学を卒業してしまったので、色々な意味で新社会人生活はまさしくゼロからのスタートでした。

確か私が小学 3 年生の時から土曜の授業が無くなったと記憶しております。ゆとり教育が始まった年です。つまり、私は“ゆとり世代”というわけです。なぜこのような話をしたかと申しますと、このゆとり世代というのが働くことが嫌いな私の中で仕事に対する大きなモチベーションになっていると感じるからです。私は大変な負けず嫌いなのですが、それも相まってかこのゆとり世代というレッテルに強い劣等感を感じることがあります。「俺達だってゆとり教育を受けたくて受けたわけじゃねーよ、そっちが勝手に決めたことじゃねーか、一括りにしやがって、今に見てろ、見返してやる！」このような気持ちが今の私の原動力になっていると思います。しかし、私はまだまだ 1 年目のひよっこ、失敗も多いです。残念。

とにもかくにも、最近の若い人も心はメラメラしているということです。打たれ弱いところがあったり、言われたことしかできなかったり、付き合いが悪かったり、というようなよく指摘される部分は確かにあるとは思いますが、みんなどこかで“ゆとり”という言葉に反応して心のうちでは燃えているものがあると思います。そこはご理解していただいて皆様、社会人の先輩方には私たち“ゆとり世代”へのご指導をこれからもよろしくお願い申しあげます。

現役の皆さんも、前々から目標、情熱がある人はそれを続けて、ない人は今からでも遅くはないと思います、自分なりの熱い気持ちを見つけて残りの学生生活をすごしてもらえればと思っております。それでも何もないよというならば、まずは目の前の部活、演奏会を本気の本気で頑張ってみてください。何かきっかけがつかめる、かもしれません。今後も皆さんの活動を楽しみにしております。

神大グリークラブの仲間、桐村敏昭君の近況

２０回生　永井哲郎(経営)

皆さんこんにちは。

私は、昭和４３年に、一浪して神戸大学経営学部に入学しました。２０回生の永井哲郎と申します。入試試験の番号が「２６」番で「ニロウ」と読め、今年もムリかなあと思っていました。その前の現役の時は「７９」番で、「なく」と読め、見事に不合格だったからです。そんなことはともかく、合格発表のその日に出会ったのが、桐村敏昭君です。

彼は私より、ずーっと年上のように見えました。実際は二浪で、早生まれの小生とは２歳ほど離れていました。

福知山線の宝塚から阪急に乗り換えて西宮北口、そして阪急六甲に着いて、六甲台まで歩いて上がりました。その合格発表の会場にいたのが彼でした。しかも同じ阪急そして福知山線でも同じ車両に乗っていました。これは、後日、入学式後の学生会館で、初めて話をしてわかったことですが・・・。彼はグリーに決めたといいました。えっ、ぼくもグリーにしたよ。それから二人のグリークラブでの交流が始まりました。

あの、大学紛争が始まって、多くの仲間がグリーを離れていきました。同期の仲間が 20 名はいたと思います。大学紛争とグリーの練習を切り離せたのが、残った我々だったと思います。

4 年になって、トップテナーは伊藤、セカンドに近藤、常重、バリトンに鈴木、ベースには木曽、桐村そして小生の 7 名だったと思います。3 年生の遠藤君や西尾君や伊藤君たちが我々の後をつないで、定期演奏会もできるまでになりました。

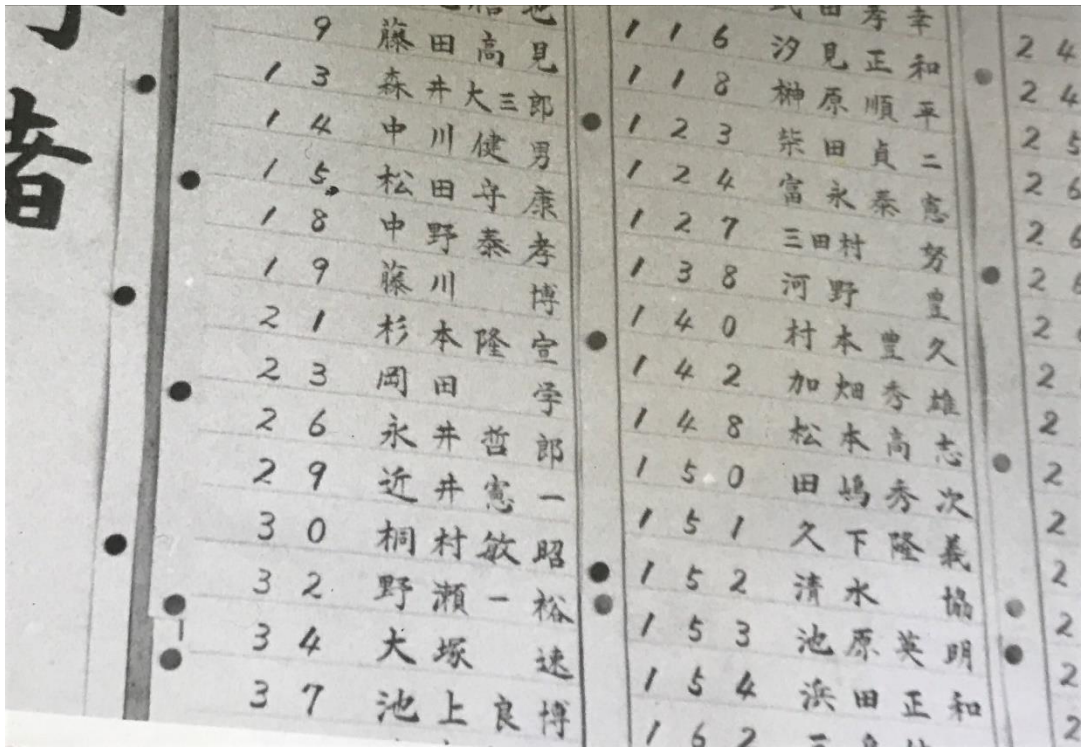
さて、神戸大学を卒業してから、彼は住友銀行、私は住友生命と別の道を歩むこととなりました。最初に配属になった支店が備後町支店、住友銀行では由緒ある支店として自慢していました。それから三宮支店の外国為替担当、この支店には一度伺ったことがあります。さらに、ドイツのデユセルドルフ支店勤務として海外にも赴任しました。私は国内要員でしたので海外勤務は皆無です。この間に、彼の結婚式では司会をしました。確か、備後町支店時代だったと記憶しています。そのご、私も大阪を離れ、神奈川や高知勤務を経て、東京勤務時代に、東京で出会いましたが、その時、住銀ではなくて紀州鉄道に移っていました。

それから、ムーンバットを経て、現在の箕面自動車学校にうつり、６５歳を過ぎ７０才になっても毎日勤務で頑張っていました。

その彼から、１１月に電話が来ました。今、千里の大阪国際がんセンターに入院している。頭に腫瘍ができて、最近のことが思い出せないんだ。腫瘍の切除の手術を受ける予定との内容でした。９月２日の関西地区ＯＢ懇親会の司会進行をやってもらって、その時は元気で、何事もないような状態でした。千里のがんセンターを探しても見つかりません。

大阪国際がんセンターは大阪の谷町４丁目です。奥さんに確認して、間違いないことがわかり、１１月１３日に見舞いに行きました。腫瘍が頭の深いところにできており、すべて

を切除はできないが、半分ぐらいを取るために１５日が手術日であることがわかりました。
この間、話すことは、グリークラブ時代の事ばかり、彼は１万人の第九に今年も出演する予定で練習も続けていたとのこと。これで１８回目の参加だそうです。
先日行われた、神戸大学卒業４５周年記念同窓会の参加者名簿や写真をＤＶＤで見ながら何回も涙ぐむ姿に胸が痛みました。
その後手術は無事終了して、手術の翌日には電話ができるようになっていました。
痛みもなく、順調な経過のようです。
しかし、今日の事や、これからすることを何回も確認しており、最近の記憶が戻っていないことがわかりました。
手術の後は、放射線治療やリハビリだけをするようで、入院していなくても通院で行けるとのことで、この手記を書いている間に、彼は自宅に戻れるようになっているはずです。
完全に元通りにはなれないとのことでしたが、１日でも早い回復を祈るばかりです。
私達同期の仲間では定年前に亡くなったトップの伊藤君（日立化成勤務）、高校の先生をしていた近藤君はがんとの闘いの最中です。
かく云う私も左の腎臓がんで手術を受けた身ではあります。
この手記をお読みいただいている皆さんも、体には十分気を付けていただきたいと
衷心より思っております。
現役の皆さんも、ＯＢの皆さんも、今を精いっぱい生きていっていただけたらと思い
この手記を書かせていただきました。



𝄞 グリー・α波・F/1・OB会 ♪

２０１８　　Ｂ２　セカンド　千足隆昭

自己紹介

私は現在８６歳、昭和７年元旦生れの為性格はお目出度くてオッチョコチョイです。昭和２４年経営学部入学。蔭山君指揮で２０余名の音痴クラブを結成して合唱を楽しんでいた所、同期の辰馬・矢島両君からグリーへの誘いを受け、増量剤として入団しました。我が人生を振り返ってグリーは大きな影響があり、感謝の心で寄稿します。以下ご笑覧を(^.^)

グリー・六甲男声

グリー　総員約８０名の大所帯となり食堂２階の部室で合唱は勿論芸術に飢えていた世代の為画･書・写真等の自作展を開催していました。合唱は嘉納・柚花両先輩と矢島・辰馬両君の指揮で練習・発表・先輩諸兄の寄付のお蔭で各地での合宿・現地演奏会を楽しみました。帰校時には皆で合唱しながら熊野先生宅・六甲ガーデン等で寄り道し青春を謳歌しました。Ｘｍａｓには学校南側進駐軍キャンプの各家庭でカロルを歌い回り当時貴重品のチョコレート他のプレゼントを沢山戴いたのも良き思い出です。卒業後１階食堂の火災で２階の部室が消失し、ピアノ・楽譜・貴重な資料等の総てを失くしたのは誠に残念です(-_-;)

六甲男声　卒業時に六甲男声結成に参画、最初の練習場は御影の深田池東北の信愛教会、２年後転勤で中断。後刻団も休止、後再開と共に復帰し２５年間在籍しました。綽名は周りから私に声を集中し助けても私の声が聞こえて来ずブラックホール、南仏演奏旅行後２０００年末病気で退団。貢献度少なくお返しに今は客席でブラボーを叫び応援しています。

アルファー波・F/1ゆらぎ

グリーで完全ハーモニーすると１オクターブ上の倍音・が響き吃驚、同時に大きな喜びに満たされ⇒α波が出ました。α波は人間・動植物から出ます。モーツァルトの音楽を聞いてα波で牛は乳が良く出、果物は沢山稔ります。其の感激が忘れられず後に会社でα波の出る製品創りをしました。昭和５４年１９８６年未来の物余り時代を予感して「物より心へ」のヒューマンマーケティングを提言、当時は物中心の大量生産大量販売＝水道哲学の時代でした。永年少しの誤差も許されぬ優良品造りを目指して来た会社で「α波を出す為無理にゆらいだ製品」を提案した為、最初は気違い扱いされ強い社内抵抗がありましたが、提言が社外受賞し、ＰＨＰを基に心の籠った＝水質哲学へと転換。平成２年１９８７年の戦後バブル最盛期に

全社ヴィジョン・ヒューマンエレクトロニクスを展開、製品戦略ではα波の出るＦ/１ゆらぎを実現しました。宇宙はＦ/１の波長のズレで創造されました。Ｆ/１ゆらぎを感じて地球上の全生物からα波が出ます。Ｆ/１は心地よい風・気の静まる川のせせらぎ・林の中はフィットンチット等で心休まります。５年後の平成４年１９９２年は戦後バブル大崩壊元年となり、その後２０年以上続く不況で本当に心の安らぎが求められる時代が来ました。今も扇風機等各製品のセールスポイントとして貢献しています。Ｆ/１は永遠です、地球が潰れても続きます。此れも総てグリーの倍音体験のお蔭です。感謝！

ＯＢ会

毎年９月初め大阪凌霜クラブで開催され、ＯＢ約４０名に現役約２０名の参加で合唱を楽しみ元気を頂いています。今は最高齢ＯＢとして今回現役当時のプログラム・楽譜を寄贈しました。又過去の大先輩の寄付を思い出し感謝を込めてお返しさせて戴いています。今後も出来るだけ出席してα波を味わい、朗娯の人生を楽しみたいと思って居ます。(^^♪

現役活動報告

昨年度におきましてもOBの皆様方による多大なるご支援、ご指導を賜りまして誠にありがとうございました。部員一同、心より感謝申し上げます。

第68回定期演奏会

2016年12月23日に我が神戸大学グリークラブは、第68回定期演奏会を神戸市立灘区民ホール(マリーホール)にて無事開催することが出来ましたことをこの場でご報告致します。たくさんのご来場御礼申し上げます。

今回の定期演奏会では第 1 ステージでは当時の副指揮者で現在の正指揮者でもある藤井達也の指揮で無伴奏男声合唱のための「優しき歌」(作詞：立原道造作曲：藤島美穂)を演奏いたしました。作詞の立原道造氏は皆様にも馴染み深いのではないのではないでしょうか。美しい詩に藤島美穂氏の優しいハーモニーをのせた曲をお届けできたのではないかと存じます。

第2ステージでは客演として、当団の技術顧問であります阪上公博先生を指揮に、前田裕佳先生をピアノ伴奏にお迎えして男声合唱組曲「帆は風に鳴り」（作詞:宗左近作曲:林光）を演奏いたしました。客演にピアノ伴奏をして下さいました前田裕佳先生をお向かえいたしまして力強い演奏をバックに力強く歌い上げました。

そして、第3ステージでは「天使のいる構図」（作詞：谷川俊太郎作曲:松本望）を正指揮者でありました指揮に正指揮者沖出賢佑ピアノに前述の前田祐佳先生のもとで演奏いたし、計3ステージを無事に歌いきることが出来ました。こちらの曲は当団にとって非常に挑戦的な曲でありたびたび大きく躓くことがありましたが部員一同力を合わせ歌いきることができました。当詩に描かれている「天使」の存在に少しでも思いをはせていただけたら幸いに存じます。

ボリュームのある曲が多く例年に比べましても練習の時間や濃度がありましたが、真剣に向き合い続けた結果拙い部分があったことは確かですが多くの方の前で披露できたことを嬉しく思っております。幸いなことに演奏会後ご好評の声を頂き、私達にとっても満足のいく演奏会となりました。大変たくさんの人たちの力をお借りして今回の演奏会を執り行うことができたと実感しております。感謝の気持ちを忘れず第69回定期演奏会に向け取り組んでいきたいと存じます。

Joint Concert 2017 ~大学生日記～

2017 年 7 月 22 日に新長田勤労市民センター別館のほうで武庫川女子大学コーラス部・神戸女学院大学コーラス部の方々と共にジョイントコンサートを開催させて頂くことが出来ました。客演指揮者には様々な合唱団の指揮者を行っていらっしゃる飯沼京子先生と客演ピアノには村上果先生をお招きして楽しく真剣に取り組みました。

当団は第 1 ステージに単独ステージに臨み無伴奏男声組曲のための「わたしはカメレオン」（作詞：有馬敲　他作曲：木下牧子）より 4 曲演奏いたしました。どこか遊びの入ったフレーズが生き生きと聞こえてくる組曲で歌う身として楽しく演奏させてもらい、ぜひ定期演奏会で組曲通してお届けできたらと存じます。

第 4 ステージでは飯沼先生の指揮村上先生のピアノのもと様々な曲をメドレー形式で演奏させていただきました。曲間にはストーリー形式で演劇を取り入れるなど 3 団体が一致団結してこの演奏会を盛り上げようという気持ちが見えたのではないかと存じます。練習が始まった当初はお互いの団が交わらないどこかぎこちない雰囲気でありましたが演奏会が終わってしまうとより最初の緊張はどこへやら、レセプションでは楽しげにしゃべっている姿が色々なところに散在しておりました。

下回生にとっても初めての他団との合同ステージで戸惑うところも多々あったと思いますが貴重な経験になり今後の演奏会に生かしてくれたらと思います。

部活は人間教育の場でもあります。様々な経験を積む一つの舞台になってくれていたらこの演奏会に取り組んだ方々も喜ばれるのではないでしょうか。

本年度は、新たに 7 名の新入生を迎え計 24 名で活動してきました。合唱の人口が減り続けている暗い話もある中で神戸大学グリークラブは一定以上の人数を保ちながら活動を続けており長い歴史を続けていることには意味があると思います。

ぜひ、長い歴史を紡ぎつつある演奏会に足をお運びいただけたら幸いです。

現在は、12 月 23 日に神戸文化ホール中ホールにて開催する予定の第 69 回神戸大学グリークラブ定期演奏会に向けて、部員一同練習に励んでいます。これからも OB の皆様方には、ご指導、御鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

2016年度　会計報告

2016年　第68回定期演奏会特別会計

収入		項目	金額	備考
	部内所得	2016年一般会計入金	395,300	
		レセプション費用徴収	81,000	
	その他所得	広告費	15,000	
	収入総計		491,300	

支出		項目	金額	備考
	演奏会費用	ホール使用料	154,200	設備・人件・調律費含む
		レセプション費用	165,760	
		先生方御礼金	80,000	
		お手伝い御礼	24,480	
		楽譜及び資料代金	61,560	
		雑費	5,300	
	支出総計		491,300	

2015年　一般会計報告

一般収入		項目	15年度決算	16年度見積	16年度決算	17年度見積
	引継	前年度繰越	270,453	486,019	491,019	402,807
	所得	部費	815,000	600,000	786,000	750,000
		部費滞納回収金	0	0	0	0
		OB寄付金	666,000	600,000	323,000	300,000
		育友会助成金	70,800	100,000	86,000	37,430
		行事等余剰金	99,316	30,000	−93,350	30,000
		行事参加礼金	0	0	0	0
	総計		1,921,569	1,816,019	1,592,669	1,520,237

一般支出			15年度決算	16年度見積	16年度決算	17年度見積
	費用	渉外関連費	132,358	100,000	175,070	100,000
		OB担当関連費	209,792	200,000	227,620	200,000
		渉内関連費	45,459	40,000	24,422	40,000
		練習場使用料	21,950	30,000	118,276	100,000
		会計関連費	4,148	3,000	2,564	3,000
		新入生関連費	60,939	60,000	18,508	40,000
		ボイストレーナー御礼	82,378	100,000	83,100	60,000
		合唱祭参加費	参加せず	60,000	60,660	60,000
		指揮師事	10,000	20,000	0	20,000
		当年ジョイントコンサー	395,414	0	79,342	269,290
		当年定期演奏会	468,112	500,000	395,300	500,000
		次年ホール予約金	次年会計から	次年会計から	次年会計から	次年会計から
		サマーコンサート	5,000	150,000	5,000	0
		次年度繰越金	486,019	553,019	402,807	127,947
	総計		1,921,569	1,816,019	1,592,669	1,520,237

今年度会計を以上の通りご報告申し上げます　　会計　福田 尚生

監査の結果、会計に問題ないことを確認いたしました　　会計監査　藤井 達也

寄付金の振込先

会報をご一覧頂き誠にありがとうございます。会報を発行し始めてから今年で 4 年目となり、毎年より良くしようと試行錯誤して作成しております。今後も、より良い会報を作成するために努力して参りますが、部員だけでは限界があるとも感じます

OB様方から何か御意見等がございましたら葉書かOB担当宛にメール等でご連絡頂けると大変嬉しく思います。また、近年現役活動をより活発にしつつも経費削減を心掛けております。しかし、まだまだ努力不足のために学校の助成金や部費だけでは活動費がまかなえていません。どうかOBの皆様方に寄付金のご協力頂けますようお願い申し上げます。

神戸大学グリークラブ口座 三井住友銀行六甲支店 普通預金 口座番号 3093489 神戸大学グリークラブ

コンピューターで振り込みをされる場合は口座名を半角カタカナで「 ｼﾝﾀﾞｲｸﾞﾘｰ 」 として下さい。なお、「 ｰ 」は長音記号ではなくハイフンなのでご注意下さい。

住所変更,お問い合わせについて

お手数ですが、住所変更された場合はハガキまたは電子メールで「回生、御芳名、連絡先、現住所」をお知らせ下さい。なお、電子メールで行われる場合は、件名に「神戸大 学グリークラブ 住所変更届け」とお書き下さい。またお問い合わせに関しましては下記宛 先もしくはご用件ごとに各役職のアドレスまでご連絡下さい。宜しくお願い致します。

ハガキ

宛先　〒657-0013 神戸市灘区六甲台町 1-1 神戸大学グリークラブ行

電子メール

ob.kobeunivglee@gmail.com	OB チーム
stage.kobeunivglee@gmail.com	ステージマネージャーチーム
liaison.kobeunivglee@gmail.com	渉外チーム
miscellaneous.kobeunivglee@gmail.com	渉内チーム
treasurer.kobeunivglee@gmail.com	会計チーム
publisher.kobeunivglee@gmail.com	編集チーム
web.kobeunivglee@gmail.com	WEB チーム
kobe_univ_glee@yahoo.co.jp	部長